

1. 授業の概要(ねらい)

人間の「教育」という行動を、進化学と遺伝学という生物学的な視点から検討した著作を読み、ディスカッションを重ねていく。一人ひとりが異なる遺伝子情報を持ち、その遺伝子が個人の能力や性格を形成しているとすれば、教育の意味はどこにあるのだろうか。従来の伝統的な教育論では扱ってこなかった、人間の遺伝的素因と教育との関係を理解し、いま真に何を学ぶべきなのか、各自問いを立てて欲しい。そして自分なりの意見を持ち、それを論理的にプレゼンテーションできる表現力を養って欲しい。

2. 授業の到達目標

- ① 心理学の幅広い分野にわたる、こころに関する知識や法則を理解できる。
- ② こころの働きを科学的に理解するための科学的思考力とデータ分析力を有する。
- ③ 教育とは何かについて、自身の考えを持ち、人に伝えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業への関与の程度、作成した資料、プレゼンテーションやディスカッションのパフォーマンス、課題に対するレポートの完成度によって評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

安藤寿康著 『なぜヒトは学ぶのか—教育を生物学的に考える』 講談社現代新書

5. 準備学修の内容

毎回の授業までに指定された箇所を、全員が読んでくること。各回の発表はグループワークによって行う。担当者グループでプレゼンテーションの準備を行い、WordまたはPower Point で発表資料を作成する。

6. その他履修上の注意事項

「マクロ社会心理学」「心理学研究法Ⅱ(心理調査計画法)」を合わせて履修することにより、理解が深まる。

履修者一人ひとりの積極的な参加を期待する。

LMSの本科目サイト内に、授業に関する情報を掲載する。履修者は毎週アクセスすること。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 教育は何のためにあるのか?
- 【第3回】 第一部 教育の進化学
 - 第1章 動物と「学習」
 - 1 知識によって生きる動物
 - 2 知識の由来
- 【第4回】
- 【第5回】 第2章 人間は教育する動物である
 - 1 教育によって学ぶ本能
 - 2 文化的知識の創造・蓄積・学習におよぼす教育の意味
- 【第6回】
- 【第7回】 第二部 教育の遺伝学
 - 第3章 個人差と遺伝の関係
 - 1 教育と遺伝—残酷な事実?
 - 2 行動遺伝学とは何か—双生児法のロジック
- 【第8回】
- 【第9回】 第4章 能力と学習
 - 1 学力はどのように遺伝的か
 - 2 遺伝と環境の交互作用
- 【第10回】
- 【第11回】 3 能力には遺伝的基盤があることを認めたとき、どう考えるか
- 【第12回】 第三部 教育の脳科学
 - 第5章 知識をつかさどる脳
- 【第13回】 映画「GATTACA」視聴
- 【第14回】 総合討論
- 【第15回】 <オンライン> 関連する文献の講読